01　調査の概要

（1）アンケート調査の目的

高砂市「文化施策に関する市民アンケート」（以下、アンケート）は、『高砂市文化振興条例』に基づき、平成 30 年 3 月に『高砂市文化振興基本方針～文化を大切にし、ふるさとを愛する人が集うまち高砂～[改訂版]』を策定し、文化振興によるまちづくりを推進している。

この基本方針に基づく施策の進捗状況を確認するとともに、市民から意見をうかがうことで、今後の施策を進める基礎資料とすることを目的とする。特に、この 2 年間は、新型コロナウィルス感染症により、多くの文化芸術活動が自粛や制限、規模の縮小に追い込まれた。感染症の終息後に文化芸術活動の回復を目指すためにも現状の把握は不可欠と考えられる。

（2）調査票の作成

アンケート調査票の作成にあたっては、高砂市健康こども部健康文化室文化スポーツ課の素案を踏まえ、平成 27 年度に実施した高砂市「文化施策に関する市民アンケート」調査との比較のため、類似の項目を採用した。調査項目は、文化芸術に関わる活動の実態と背景、『高砂市文化振興条例』の施行、『高砂市文化振興基本方針』の策定後の意識変化や政策の方向性の他、老朽化し課題も指摘される「文化会館」「文化保健センター」と、主たる設備の大中のホール、「文化会館じょうとんばホール」「文化保健センターぼっくりんホール」の利用状況や満足度、さらには人口減少を踏まえ、市民ニーズに合致した文化施設の建替えや改修についても市民の意見を伺った。回答者属性を含め、全部で 46 項目である。アンケート調査票の写しを報告書の巻末に掲載する。

平成 27 年度に実施した調査では 26 項目であったため、大幅に増大した。

（3）調査の実施概要

アンケート調査の実施の概要は下記の通りである。

■調 査 対 象　　18 歳以上の高砂市民から無作為に抽出した 1,000 件
■標 本 抽 出 法　　比例割り当てによる層化抽出法
■調　査　主　体　　高砂市
■調　査　期　間　　令和 3 年 12 月 27 日～令和 4 年 2 月 1 日

■調査票配付方法　　郵送法
■調査票回収方法　　郵送法、及びオンラインによる回収※
※「兵庫県電子申請共同運営システム（e-ひょうご)」の利用
■回答記入方法　　選択肢記載（郵送法)、パソコン、スマートフォンからの入力（オンライン）
■調　査　機　関　　兵庫大学附属総合科学研究所

（4）回収状況

当初設定した調査期間は令和 4 年 1 月 21 日であったが、回収数を向上させるために、当初の締め切り日、対象者全員に、お礼と催促を兼ねたハガキを送付した。その結果、**有効回答数は、390 件（有効回収率 39.0%）であった。**

平成 27 年度の調査での有効回収率は 47.7%と半数近くであった。設問が多いと、回収率の低下のあることも知られており、今回、設問を大幅に増やした結果、回収率が低下したと思われる。

回答方法

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	スマートフォン	74	19.0	19.0	19.0
	一般	4	1.0	1.0	20.0
	紙	312	80.0	80.0	100.0
	合計	390	100.0	100.0	

回答方法別で、回収数を示す。「紙」は調査票の配布、そして回答を郵送法で回収した件数である。全体の 80%を占める。やはり、紙での郵送と回収は今なおアンケート調査の主たる方法である。「一般」はオンラインでパソコンやタブレットを使用しての回答、「スマートフォン」は同じくオンラインで、スマートフォン経由での回答である。

性別・回答方法

			回答方法			
			スマートフォン	一般	紙	合計
性別	男性	度数	31	2	128	161
		%	19.3%	1.2%	79.5%	100.0%
	女性	度数	42	2	174	218
		%	19.3%	0.9%	79.8%	100.0%
	選択しない	度数	1	0	8	9
		%	11.1%	0.0%	88.9%	100.0%
合計		度数	74	4	310	388
		%	19.1%	1.0%	79.9%	100.0%

性別では回答方法に大きな違いはない。

年齢階級別・回答方法

			回答方法			
			スマートフォン	一般	紙	合計
年齢階級	18～29歳	度数	12	0	10	22
		%	54.5%	0.0%	45.5%	100.0%
	30～39歳	度数	15	0	18	33
		%	45.5%	0.0%	54.5%	100.0%
	40～49歳	度数	23	1	38	62
		%	37.1%	1.6%	61.3%	100.0%
	50～59歳	度数	16	1	55	72
		%	22.2%	1.4%	76.4%	100.0%
	60～69歳	度数	4	1	80	85
		%	4.7%	1.2%	94.1%	100.0%
	70歳以上	度数	4	1	110	115
		%	3.5%	0.9%	95.7%	100.0%
合計		度数	74	4	311	389
		%	19.0%	1.0%	79.9%	100.0%

年齢階級では、明らかに若年の回答者は「スマートフォン」で回答をしている様子が見て取れる。特に「18～29 歳」では、過半数がスマートフォンからの回答となっている。若年者の回収率の向上には、オンラインでのアンケート調査は有効である。他方、「70 歳以上」では、95.7%が「紙」での回収となっており、今後も「紙」と「オンライン」の 2 つの回収方法でアンケート調査は進められることになるのではないか。